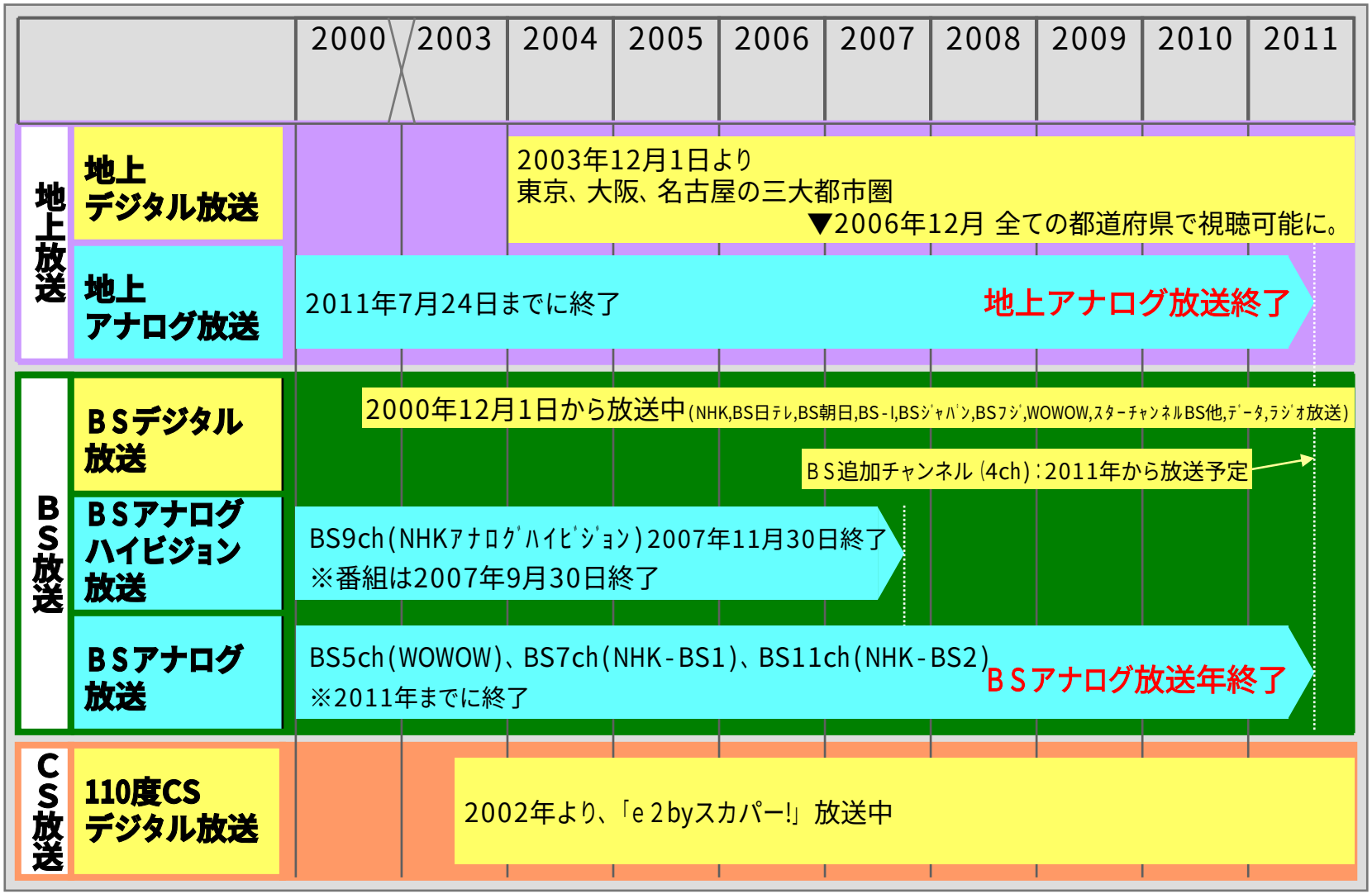
『マンション内 テレビ共同受信設備』

地上ﾃﾞｼﾞﾀﾙ・BSﾃﾞｼﾞﾀﾙ 110度CS対応ご説明資料

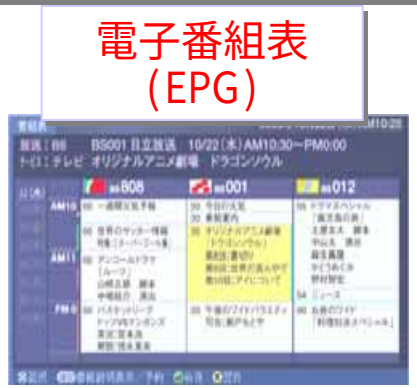
八木アンテナ株式会社

■デジタル放送のスケジュール

地上ﾃﾞｼﾞﾀﾙ放送が、BS放送・110度CS放送(e2byｽｶﾊﾟｰ!)に続き、2003年12月より関東・中部・近畿の三大都市圏で始まり、2006年12月より全国主要都市にて放送開始されました。



■地上デジタル放送の特長



現行アナログ放送に比べ
きれいな映像

走査線 **2倍以上**

きめ細かさ（情報量） **5倍以上**

さらに**高音質＆臨場感**

音質 **CDレベル**

対応 ※番組による **5.1チャンネル**

アナログ放送

・画面縦横比（3：4）
・走査線525本
（35万画素）

4 × 3

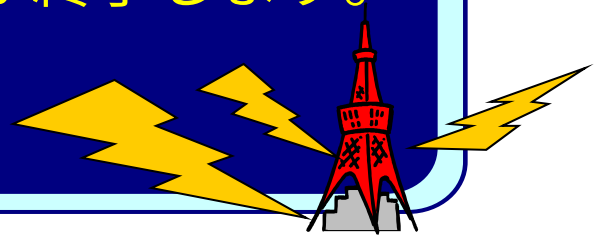
デジタル放送（ハイビジョン）

・縦横比（9：16）
・走査線1125本
（200万画素）

16 × 9

■デジタル放送 本格化

２０１１年に今のアナログ放送が終了します。
アンテナのご準備は、
おすみですか？

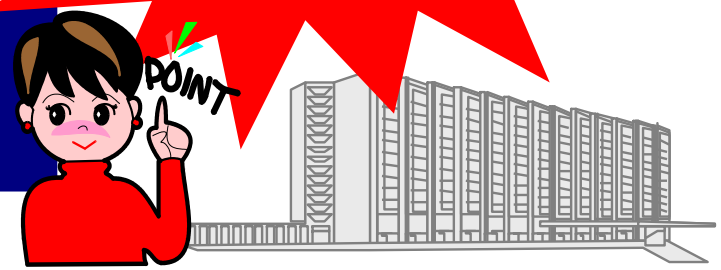


まだ早いと思っていませんか？

首都圏で約４割のマンションで地上デジタル放送受信の準備が出来ていません。

●ギリギリまで待てばもう少し金額が安くなるかも！
●国が補償してくれるかもしれない・・・
●自分の家に限ってテレビが見れなくなるなんて・・

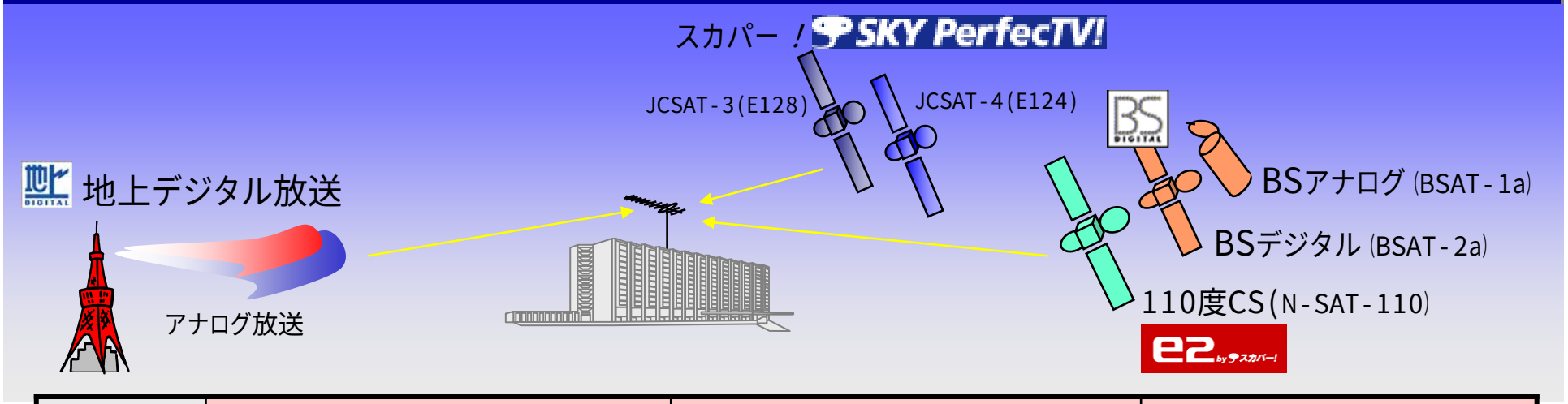
と、
考えていませんか？



夏のエアコン工事を
思い浮かべて見てください！

２０１１年直前で工事を予約しようとしても、地デジ工事の予約が取れない(工事をする業者が足りなくなる為）、値段が高くなる。などの問題が懸念されています。
早めの工事をお勧めします。

■デジタル放送の種類



放送の種類	地上波		BS(衛星放送)		CSデジタル放送	
	アナログ	デジタル	アナログ	デジタル	e2byｽｶﾊﾟｰ！	スカパー！
チャンネル数	標準テレビ (地域により異なる)	・ハイビジョン ・データ (地域により異なる)	・標準テレビ:3 ・ハイビジョン:1	・ハイビジョン:7 ・標準テレビ:3 ・ラジオ:23 ・データ:21	テレビ:約70	・テレビ:185 ・ラジオ:104
放送番組	NHK・民放	NHK・民放	NHK WOWOW (有料)	NHK・民放 WOWOW(有料) ｽﾀｰﾁｬﾝﾈﾙ(有料)	専門チャンネル (無料:17% 有料:83%)	専門チャンネル (有料)
受信機	テレビ／ビデオ	デジタルチューナ ・内蔵テレビ	BS内蔵テレビ ・ビデオ	デジタルチューナ ・内蔵テレビ		スカパー！ 専用チューナ
備考	**2011年7月終了**	2003年より順次	**2011年終了**	同一軌道(東経110度)		

□:国産のほとんどの地上デジタルテレビで受信できるチャンネル。　□:テレビ共聴設備では一般的に伝送できません。

■マンションのテレビ共同受信設備（現状）

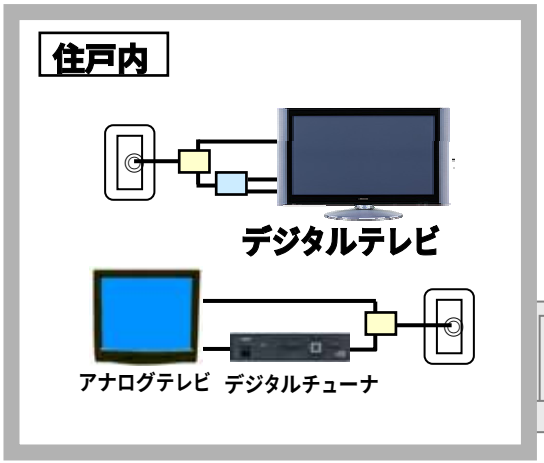
UHFデジタル電波

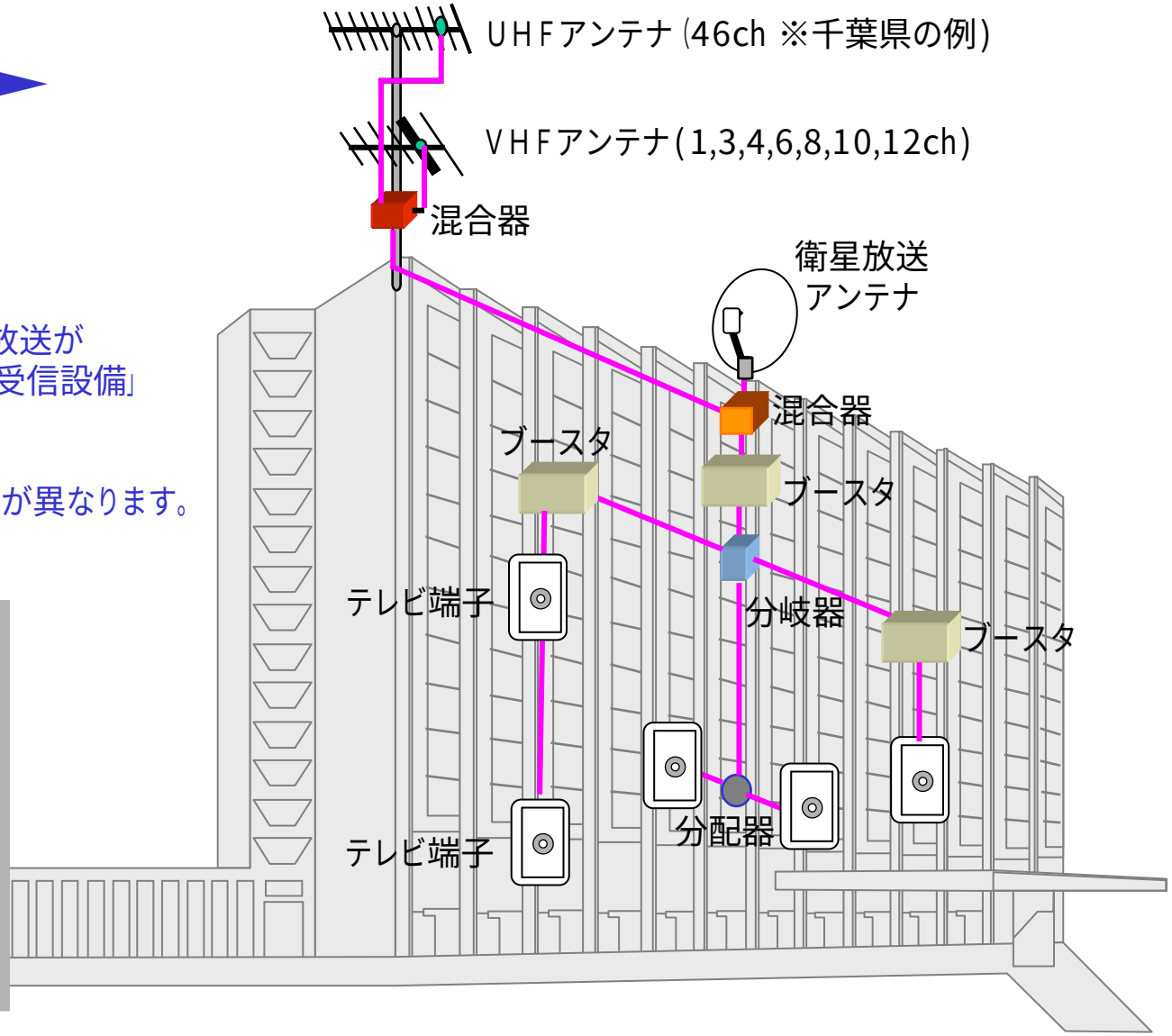
UHFアナログ電波

VHF電波

■マンション内には各住戸にてテレビ放送が良好に受信できるよう、「テレビ共同受信設備」が設けられています。

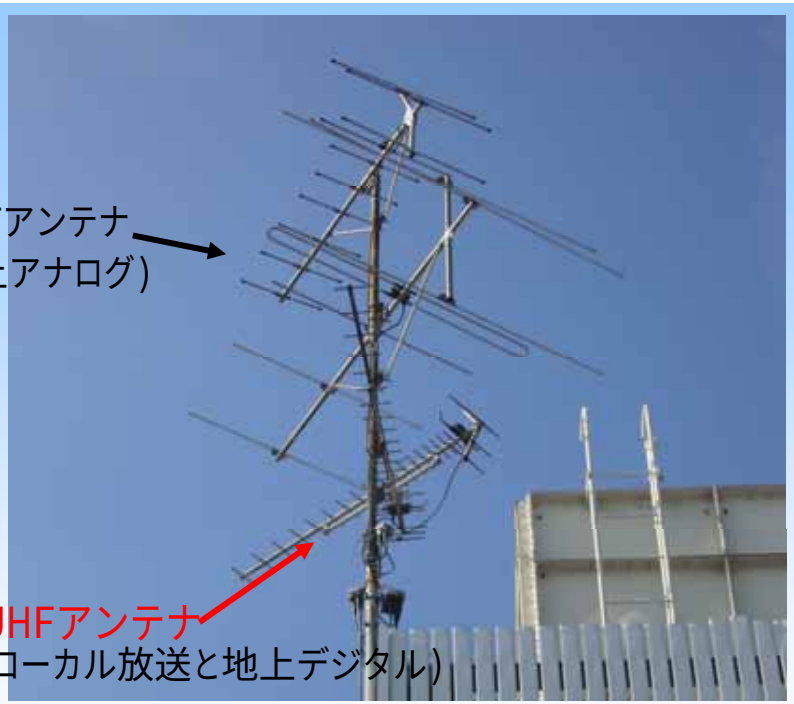
■設備の構成により、受信できる放送が異なります。





■マンションにはどんな準備が必要？

アンテナの向きを送信塔にあわせる

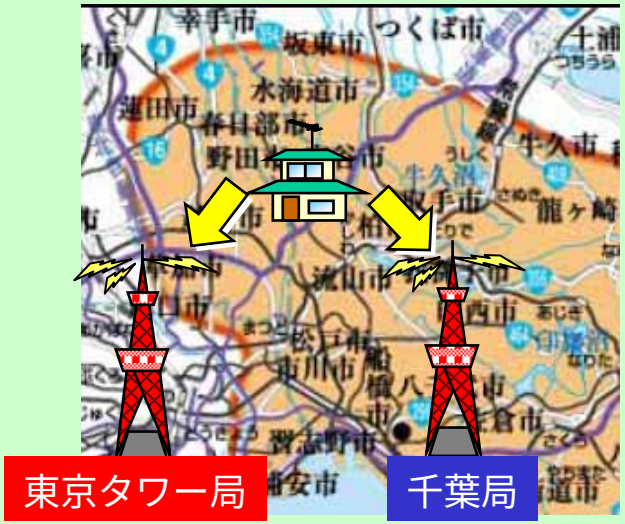


■地上デジタル放送を受信するときはＵＨＦアンテナが必要です。

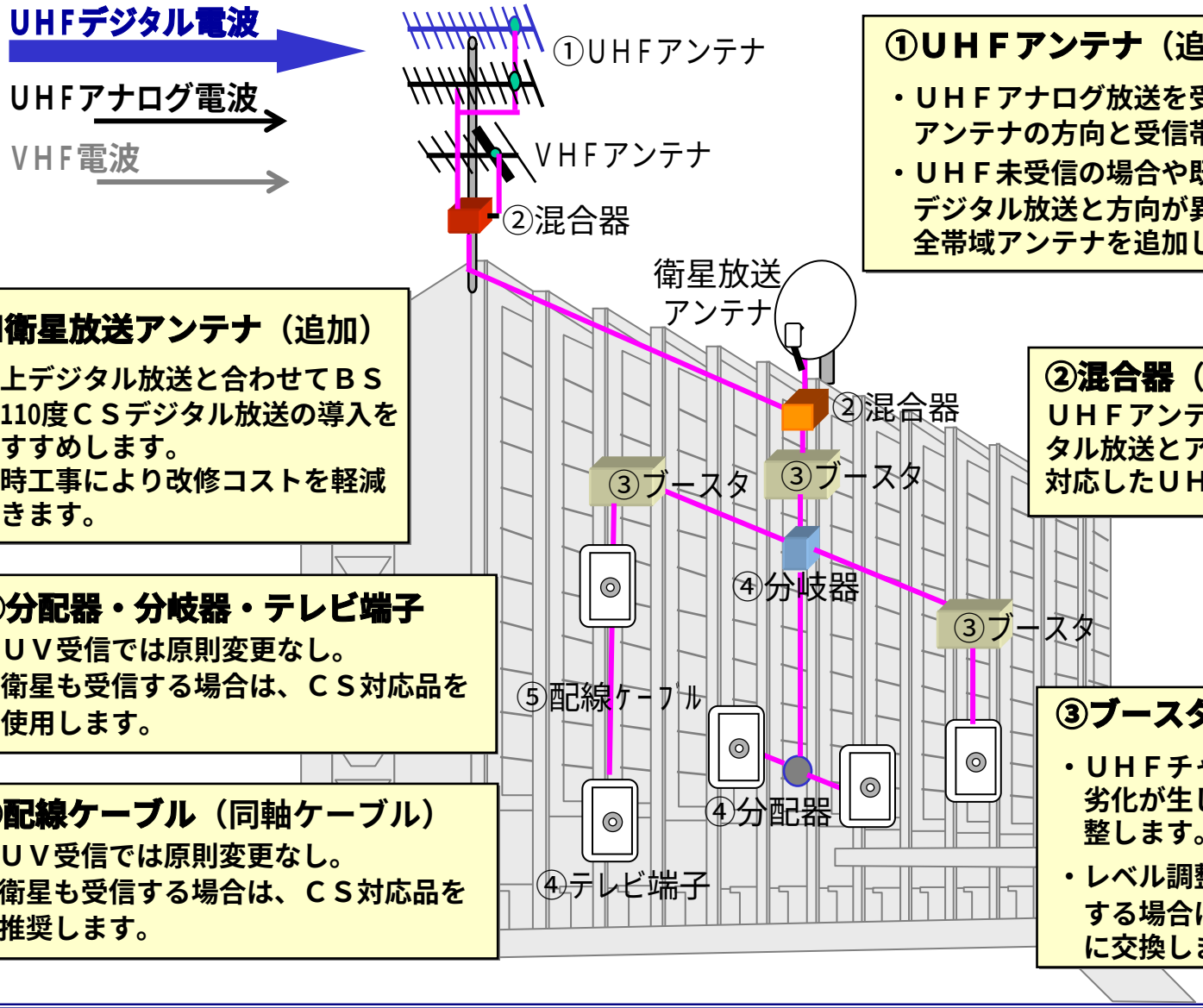
■ＢＳデジタル・１１０度ＣＳデジタル放送を受信するときには衛星放送アンテナが必要です。

送信塔が２つある場合は？

例えば「東京タワー局」と「千葉局」は方向がまったく違うため、２本のＵＨＦアンテナが必要になります。



■施設改修ポイント（1）　～個別アンテナ受信～



①ＵＨＦアンテナ（追加・交換）

- ＵＨＦアナログ放送を受信している場合は、ＵＨＦアンテナの方向と受信帯域を確認します。
- ＵＨＦ未受信の場合や既存のＵＨＦアナログ放送とデジタル放送と方向が異なる場合は、新たにＵＨＦ全帯域アンテナを追加します。

■衛星放送アンテナ（追加）

地上デジタル放送と合わせてＢＳ・110度ＣＳデジタル放送の導入をおすすめします。
同時工事により改修コストを軽減できます。

②混合器（追加・交換）

ＵＨＦアンテナを追加する場合は、デジタル放送とアナログ放送のチャンネルに対応したＵＨＦ混合器を使用します。

④分配器・分岐器・テレビ端子

- ＵＶ受信では原則変更なし。
- 衛星も受信する場合は、ＣＳ対応品を使用します。

③ブースタ（調整・交換）

- ＵＨＦチャンネルの増加により画質劣化が生じる場合は出力レベルを調整します。
- レベル調整により端末レベルが不足する場合はブースタを高出力タイプに交換します。

⑤配線ケーブル（同軸ケーブル）

- ＵＶ受信では原則変更なし。
- 衛星も受信する場合は、ＣＳ対応品を推奨します。

■施設改修ポイント（2）　～ＣＡＴＶ受信～

■現在ＣＡＴＶを受信されているマンションの場合

※地上デジタル放送がＣＡＴＶ会社よりサービスされています。

①ＣＡＴＶ会社にて地上デジタル放送サービスが行われます。

②ＢＳ放送を視聴する場合にはSTB(ｾｯﾄ･ﾄｯﾌﾟ･ﾎﾞｯｸｽ)が必要となります。
STBのレンタル料金等で月々4000円程度の費用が必要です。

③「ＣＡＴＶ」と「地上デジタル用ＵＨＦアンテナ」との混合は行えません。
（ＣＡＴＶで使用されてるい周波数と混信してしまうため）

■ＢＳ・１１０度ＣＳアンテナの追加をお勧めします。

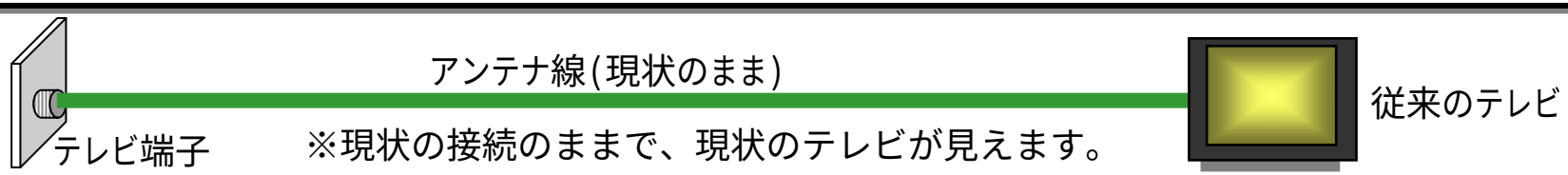
地上デジタルテレビのほとんどに「BSデジタル放送」及び「110度CS放送(e2byｽｶﾊﾟｰ)」用の受信チューナーが内蔵されています。

①地上デジタル放送に内蔵されている機能を利用して無料でＢＳ放送が視聴いただけます。
※)NHK系を視聴するには受信料が必要です。

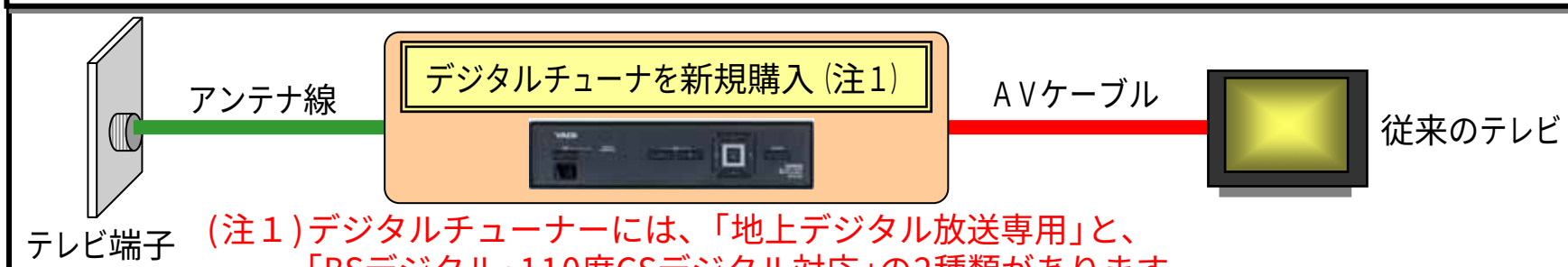
②110度CS放送(e2byｽｶﾊﾟｰ)の]の無料/有料番組を視聴可能です。
※)有料番組は各戸での契約となります。

■ご家庭ではどんな準備が必要？

①現状のままで現状のテレビ（アナログ放送）を見る場合

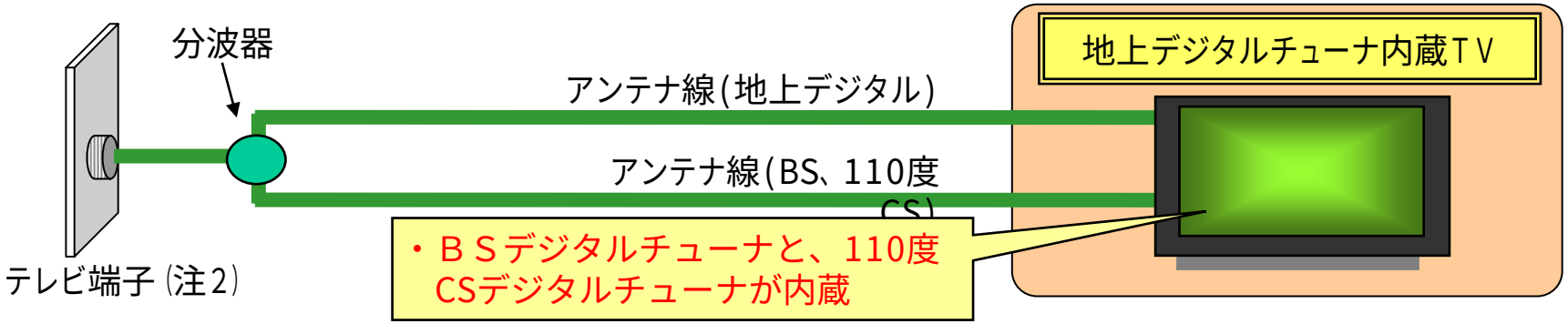


② 現在使用しているＴＶでデジタル放送を見る場合



（注１）デジタルチューナーには、「地上デジタル放送専用」と、
「BSデジタル・110度CSデジタル対応」の2種類があります。

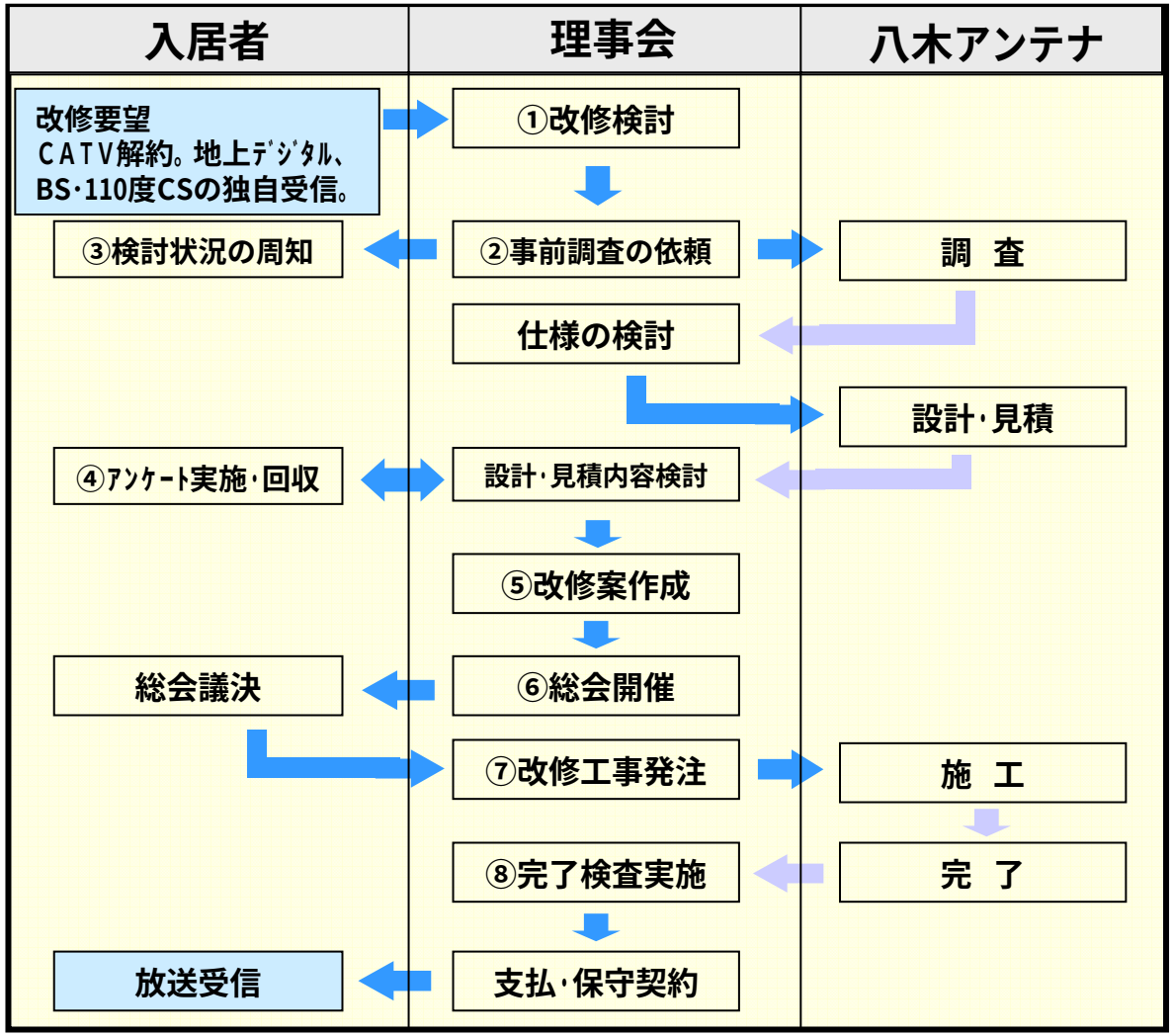
③ デジタルチューナ内蔵TVの場合



（注２）「BS・110度CSデジタル放送」を導入する場合は、テレビ端子交換が必要です。

■デジタル放送導入までの流れ

共同受信設備を改修する場合、分譲マンションでは管理組合様の理事会を中心に実施を検討いただきます。



①改修検討

入居者からの要望を受け、管理組合様にて新しい放送サービス導入について検討します。

②事前調査の依頼

改修方法についてご要望をいただき「八木アンテナ」にて調査及び提案を実施いたします。

③検討状況の周知

「管理組合ニュース」や「理事会だより」などで共同受信設備の改修についての検討状況を入居者に周知します。

④ｱﾝｹｰﾄの実施

改修について入居者の意向を確認します。

⑤改修案の作成

資金調達の方法や工期などを話合い、総会の開催準備をします。

⑥総会開催

改修方法、資金調達、工事発注など全体計画について提案し、承認を得ます。

⑦改修工事発注

総会にて承認後、発注いただきます。

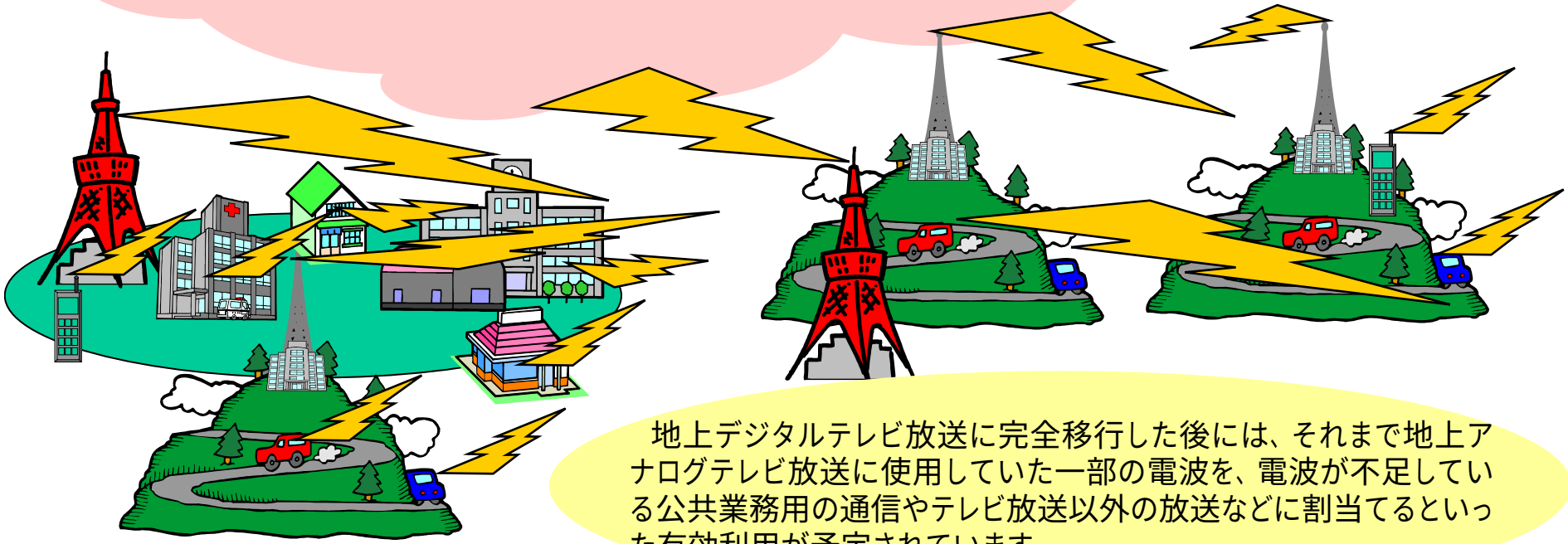
⑧完了検査実施

工事完了後、改修状況やテレビの受信状況について検査を行います。

■ご参考資料(1) なぜ地上デジタル放送をはじめるの？

近年、携帯電話や無線ＬＡＮに代表されるように電波利用は著しく増えており、電波資源の不足が深刻化。

→電波の有効利用をしていくために電波の整理が必要。
→放送のデジタル化により電波を有効活用可能(たくさんの情報伝送が可能)。
→世界中でアナログからデジタル方式へ切り替えが進んでいます。



地上デジタルテレビ放送に完全移行した後には、それまで地上アナログテレビ放送に使用していた一部の電波を、電波が不足している公共業務用の通信やテレビ放送以外の放送などに割当てるといった有効利用が予定されています。

■ご参考資料(2) 用語集

①地上デジタル放送

2006年12月より本格放送が開始されました。地上ｱﾅﾛｸﾞ放送に比べ、高画質･高音質のｻｰﾋﾞｽが行われています。番組内容はｱﾅﾛｸﾞ放送とほぼ同じです。

②地上アナログ放送

現在ご覧になられている1～12ﾁｬﾝﾈﾙ等のテレビ放送です。2011年7月24日までに終了予定です。

③ＢＳ放送

放送衛星による放送で、ｱﾅﾛｸﾞ/ﾃﾞｼﾞﾀﾙの2つの方式で放送されています。

④110°CS放送(ｽｶﾊﾟｰ!110)

BS放送衛星と同じ東経110°にある通信衛星による放送です。ｽｶﾊﾟｰ!の番組の中の人気番組が放送されています。

⑤スカパー！

東経124°及び128°にある通信衛星による放送です。約185番組の多ﾁｬﾝﾈﾙ放送が行われています。

⑥ＶＨＦアンテナ

地上ｱﾅﾛｸﾞ放送の内、1～12chを受信するためのｱﾝﾃﾅです。

⑦ＵＨＦアンテナ

地上ｱﾅﾛｸﾞ放送の内、14ch(MXTV)等のﾛｰｶﾙ放送を受信するためのｱﾝﾃﾅです。また、地上ﾃﾞｼﾞﾀﾙ放送も本ｱﾝﾃﾅで受信します。

⑧ブースター(増幅器)

ﾃﾚﾋﾞ共同受信設備で、ﾃﾚﾋﾞ放送を配信する際に、ｹｰﾌﾞﾙや分岐･分配器等の機器によりﾃﾚﾋﾞ信号が弱くなります。弱くなった電波を強くなするためのです。

⑨分岐器・分配器

ﾃﾚﾋﾞ共同受信設備で、ﾃﾚﾋﾞ信号を複数の系統に分けるための機器です。

⑩テレビ端子

各戸の壁面に付いているﾃﾚﾋﾞ信号の取り出し口です。